

～新刊図書のご案内～

男女共同参画センターでは本の貸出を行っています。
お1人様2週間2冊まで。ご利用お待ちしております。

ありか

著者：瀬尾 まいこ



幸せを求めて家を出た主人公は自分の家族を手に入れるも、夫の浮気が原因で離婚。かけがえのない愛娘との生活は、全てが愛おしく美しさに満ち溢れる。毒親である母の存在もまた、主人公を取り巻く全ての人々の優しさを引き出している。中でも同性愛者である義弟との家族の繋がりは読者の心を和ませる。大切な存在である温もりを手放さないために、誰もが懸命に生きていることを、主人公の生き方を通して心地よく思い返すことができる一冊です。

ほどよく孤独に生きてみる

著者：藤井 英子



93歳、現役、漢方心療内科医院院長である筆者の言葉に、読者は自身の人間関係を振り返り、気づきが得られることでしょう。

*「忘却」を利用する

*いつだって「これから」を話す

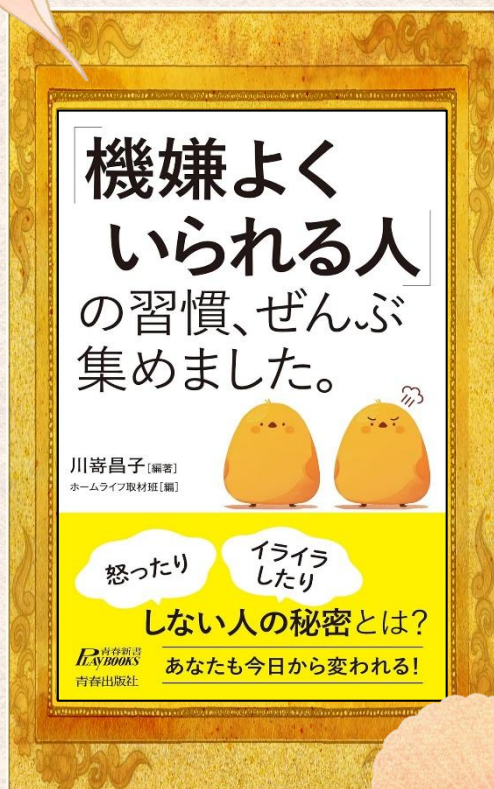
*「誰かの100点」はいらない 等

何気ないアドバイスやすぐに実践できる身体の知識は、疲れた現代人の心をほぐしてくれます。誰かと上手に関わるための軽やかで心地よい生き方を学び自由な時間を手に入れましょう。

「機嫌よくいられる人」の習慣、ぜんぶ集めました。

編著：川崎 昌子

編：ホームライフ取材班



「習慣、ぜんぶ」シリーズの最新刊。分かっていても不機嫌になってしまうことは誰にでもあります。幅広い角度で集められた機嫌よく過ごすための139の項目について、自分に合う気持ちの切り替え方法を増やしましょう。日常的にできている自分流の習慣と照らし合わせてみることで新しい発見につながるかもしれません。

基礎ゼミ ジェンダースタディーズ



著者：守 如子・前川 直哉

ジェンダーの基礎から最前線までを網羅した究極の入門書です。

- * 女性はメイクをすべき？
- * スポーツは男性向き？
- * 災害の被害は平等？
- * LGBTは私のまわりにいない？
- * 女性専用列車は「男性差別」？
- * 少子化の原因は「女性の社会進出」？等々

思いこみから自由になるために、本書を通じて様々な立場の人が直面しているジェンダー問題を知り、考えてもらうきっかけになる本です。

女たちが語る阪神・淡路大震災 1995～2024

いいたいことがいっぱいあった

著者：ウィメンズネット・こうべ



1995年1月17日、阪神・淡路大震災が発生しました。本書は震災直後に寄せられた被災地の女性たちの手記と、30年後の状況を併記することで、被災女性たちの人生の記録を残しておこうとする本です。災害大国日本では防災や減災の分野に、女性の視点や参画が必要不可欠です。防災は日常から。災害時に女性の人権を守るには、平時からのジェンダー平等が不可欠であると考えさせられます。

